



## たのしいムーミン一家

【ムーミン童話全集 2】

ヤンソン

トーベ・ヤンソン 作・絵 山室静 訳 講談社

ある春の朝、ムーミントロールは長い冬眠からめざめ、スナフキンやスニフといっしょにおさびし山へでかけました。すると、山のてっぺんにまっ黒なシルクハットがころがっていました。そのぼうしは、中に入れたものをおかしなものに変えてしまう魔法のぼうしだったのです。それからムーミン谷では、不思議なできごとが次から次へとおこります。『ムーミン童話全集』は、全8巻と別巻があります。

## 飛ぶ教室

ケストナ

エーリヒ・ケストナー 作 池田香代子 訳 岩波書店

寄宿学校には、いろいろなタイプの少年たちが集まります。力が強かったり、頭が良かったり、泣き虫だったり……。そんな少年たちがくり広げる、学校での日常。上級生との小競り合いもあります。成績のことや、寄宿学校ならではの悩みもあります。毎日過ごすなかで、少年たちの熱く固い友情が生まれるのです。友だちは人生においてかけがえのないものだ、教えてくれる作品です。



## トムは真夜中の庭で

ヒアス

フィリップ・ヒアス 作 高杉一郎 訳 岩波書店

弟ははしかなかったため、親せきの家に預けられることになったトム。外に出られないたいくつな毎日にうんざりです。なかなか眠れない夜、玄関ホールの古い大時計の鐘がなり、あるはずのない13の時を知らせます。たしかめに行ったトムは、裏口からひろがる庭を見つけるのです。夜になると現れる庭は、トムが行くたびに、季節も時間も変わります。そこでトムは、ハティという少女に出会うのです。

## ねらわれた星

【星新一ショートショートセレクション】

ホシ

星新一 作 和田誠 絵 理論社

異星人が、地球人をやつつけにきました。地球人の皮ふを溶かすピールスを作り、地球にばらまいたのです。でも、地球人はなかなか死にません。薄気味悪くなった異星人は、地球を後にしました。表題作の『ねらわれた星』のほか、19編からなるショートショート。どの作品もユーモアあふれる、独特な世界が楽しめます。



## バッテリー

アサノ

あさのあつこ 作 佐藤真紀子 絵 教育画劇

中学入学をひかえた春休み。天才ピッチャー原田巧は、父の転勤で小さな地方都市に引っ越してきました。ピッチャーとしての自分の才能を信じ、トレーニングにはげむ巧の前に、同級生の永倉豪があらわれます。ひとり技術をみがき、勝つことにしか関心のない巧と、後輩たちから信頼され、チームメイトとともに野球を楽しむ豪。正反対のふたりは、バッテリーを組むことになります。



## ピーター・パンとウェンディ

ハリ

J・M・ハリ 作 石井桃子 訳 F・D・ベッドフォード 画 福音館書店

ある夜、ウェンディたちの前に妖精をつれた不思議な男の子があらわれました。彼の名前は、ピーター・パン。ピーターにさそわれて、ウェンディたちは「ネヴァーランド」へ飛び立ちます。ネヴァーランドは、妖精や人魚、インディアンや海賊が住む不思議な島です。そこでは、ピーターをねらう海賊フック船長との戦いや、ワクワクする冒険がウェンディたちを待っていました。

## ちょっとひとやすみ⑦

『絵本』というと、小さな子が読むものというイメージがありませんか。しかし、絵本は読者の年齢層がとても広く、メッセージ性のあるものも多く出版されているのです。そのような作品は、複雑なストーリーや内容を、少ない言葉で、シンプルにまとめています。難しいテーマも、絵本にすることで共感したり、考えさせられたりすることがあります。また、幼いころ親しんだ絵本も、大きくなってから読んでみると、違った印象を受けるかもしれません。もう一度、絵本を手にとってみませんか。

